

2.直流回路の施工確認 ※PID非対応パネルまたは蓄電システム設置前の発電量低下について、当社による責任は負えません。

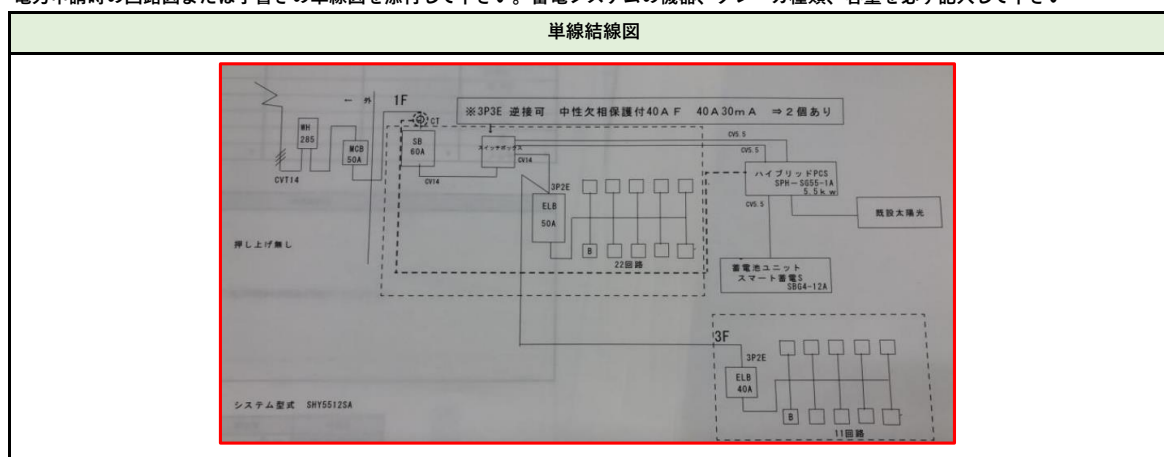
※未記入の場合、電圧の妥当性が確認できず、アフター対応時の調査に時間を要します。

確認事項：ストリング定格開放電圧が450V以下 かつ 定格動作電流が12.5A/回路以下(一括入力の場合37.5A以下)であること

回路	PV1	PV2	PV3	PV一括入力の場合
メーカー	〇〇	〇〇	〇〇	
型式	〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇-〇	〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇-〇	〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇-〇	
直列数	〇	〇	〇	
並列数	〇	〇	〇	
接続箱の有無	有・無	有・無	有・無	有・無
ストリング開放電圧 実測値	〇〇.〇 V	〇〇.〇 V	〇〇.〇 V	V

3.単線結線図

電力申請時の回路図または手書きの単線図を添付して下さい。蓄電システムの機器、ブレーカ種類、容量を必ず記入して下さい



4.交流系の端子電圧の確認

測定方法：スマートスイッチボックスの自立、連系ブレーカの端子間をテスターで測定

※判定基準：U-O(N)、W-O(N)間 101±6V U-W間 202±20V

自立	U-O(N)間	102	V	連系	U-O(N)間	102	V
	W-O(N)間	102	V		W-O(N)間	102	V
	U-W間	204	V		U-W間	204	V

5.接地抵抗・絶縁抵抗 測定

電気設備技術基準の解釈 第29条

※ C種接地工事：300Vを超える低圧用設置工事→10Ω以下(0.5秒以内に動作する遮断装置を設置した場合は、500Ωまで緩和)

※ D種接地工事：300Vを超える低圧用接地工事→100Ω以下(0.5秒以内に動作する遮断装置を設置した場合は、500Ωまで緩和)

対象箇所	接地種別	判定基準	測定値
単独接地	C種またはD種	10Ω以下(C種) または 100Ω以下(D種)	〇〇〇 Ω

絶縁抵抗測定(線間)

※絶縁抵抗を測定する場合は必ず電池側の端子を外してから実施して下さい。

対象場所	検査対象	判定基準	測定値
パワーコンディショナ ～ スイッチボックス-H	自立	印加電圧 DC500V 0.2MΩ以上 (電気設備技術基準58条)	〇〇〇 MΩ
	自立		〇〇〇 MΩ
	自立		〇〇〇 MΩ
	連系		〇〇〇 MΩ
	連系		〇〇〇 MΩ
	連系		〇〇〇 MΩ
パワーコンディショナ～蓄電池	(+)-(N)間		〇〇〇 MΩ
	(+)-(E)間		〇〇〇 MΩ
	(-)-(E)間		〇〇〇 MΩ